

常葉学園だより

常葉学園本部
常葉学園大学・大学院
浜松大学・大学院
富士常葉大学・大学院
常葉学園短期大学
常葉学園高等学校・中学校
常葉学園橘高等学校・中学校
常葉学園菊川高等学校・中学校
常葉学園大学教育学部附属橘小学校
常葉短大附属こは幼稚園
常葉短大附属たちばな幼稚園
常葉学園医療専門学校
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校

第190号



橘小学校運動会(H21.10.18)

地域産業の 人材育成と連携した 就職担任制支援システム

浜松大学総合研究所所長・保健医療学部教授

中西 毅



9月以降、事業の実施に取り組んでいます。全学の協力を得ることが何よりも重要でした。さいわい10月には全7学科代表からなるサポートチームも結成され、先進的で堅実な運営が始まっています。

この経験が出発点となつて本企画が生まれました。日常の取り組みと人のつながりの重要性をあらためて痛感します。

9月以降、事業の実施に取り組んでいます。全学の協力を得ることが何よりも重要でした。さいわい10月には全7学科代表からなるサポートチームも結成され、先進的で堅実な運営が始まっています。

文部科学省の平成21年度「大学教育・学生支援推進事業 学生支援推進プログラム」への取組として、浜松大学は「地域産業の人材育成と連携した就職担任制支援システム」を提出し、7月に採択通知を受けました。

夏休みはこの取組に給付される補助金のための「調査作り」に追われましたが、就職支援センター・会計課・総合研究所の連係プレーで8月24日に補助金の交付内定を無事受けることができました。9月から執行される3年間にわたる補助金総額2,880万円強のプログラムです。

本年度は、①就職環境についての学内研修 ②就職指導の専門研修、③人材育成企業データベース作成、④人材育成地域研究会(他大学との連携・日中韓国比較研究を含む)、⑤人材育成シンポジウム、を実施していきます。

この取組の目的は、全教職員の就職指導意識の成熟を図り、地域産業の将来を自覚した人材育成の観点を獲得して、学生ひとりひとりの就職活動を支援することにあります。

この企画の発端は、本年3月、富士常葉大学の文蔵皓博士が韓日産業技術協力財団の人材育成調査に協力して浜松大学の総合研究所に共同研究を提起されたことにあります。4月に行われた、冷間圧造技術で「元気なモノづくり中小企業300社」に選ばれた浜松市北区の西尾精密株式会社との調査には、文博士とともに財団の金度勲理事、浜松大学総合研究所からは山田額二准教授(浜松テクノポリス推進機構理事兼任・白春驪博士・中西が参加しました。期せずして産官学・日中韓国国際連携・学園内連携が成立していたわけです。

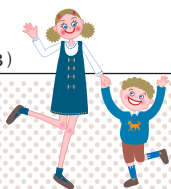


富士常葉大学 創立10周年 記念式典



平成21年9月30日(水)、富士市文化会館・ロゼシアター中ホールにおいて、来賓や大学関係者などおよそ500名が出席し、富士常葉大学創立10周年記念式典が盛大に挙行了されました。式典では、はじめに木宮健二理事長・学長が「従来にも増して教育研究に努めるとともに地域社会へ貢献し、存在感のある有為な人材を輩出したい」と式辞を述べました。その後来賓代表による祝辞、在学生代表の謝辞の後、出席者全員で学園歌を斉唱して式典を終えました。引き続き同大教員による新設学部「社会環境学部」の紹介、学生による「富士大学10年の歩み」のスライド上映が行われ、過去―現在―未来の富士常葉大学の姿を様々に映し出しました。記念講演では富士市出身で金沢工業大学の石川健一学長が「創造の感動と実践」学生諸君の目指すべきもの」をテーマに含蓄のある講演を行いました。行事の締めくくりとして記念祝賀会が行われ、会場では過去の思い出に花を咲かせたり、将来の希望に夢をはせたり、親しく語り合う参加者の姿が随所に見受けられました。





常葉大

09 海外教育観察実習



10月11日～19日の9日間、海外教育観察実習で33名の学生がチェコ、ドイツ、イタリアの3か国を訪問しました。プラハ、ミュンヘン、ローマの日本人学校、現地の幼稚園、小・中・高等学校の授業を参観し、先生方のお話を伺ったり、児童生徒と交流をしたりしました。ドイツのギムナジウム学校やシュタイナー学校では、高い理想のもとに教育を続けている歴史と伝統の重さを実感するなど、それぞれの国の教育の特色を肌で感じる事ができました。教師を志す学生にとって、教育に対する視野を広げる有意義な9日間となりました。

橘小

読書の秋・素敵な本との出会い
—なかよし読書＆校内読書郵便—

本校では、読書月間にあわせ、「なかよし読書」読書郵便活動をおこなっています。なかよし読書とは、相棒さん同士(上学年と下学年のペア)が、相手の子におすすめの本を読み聞かせる活動です。どの教室も、相棒さんの読み聞かせにじっと耳を傾け、真剣に聴き取る姿が見られました。たのしいイラストやあらすじ、感想などを葉書に書いて相棒さんに教えてあげる活動が読書郵便です。各教室には郵便受けが置かれ、図書委員さんたちが葉書を届けて回ります。これらの活動を通して、本に親しむ機会、本に対する興味や関心を、より深める場の一つとしています。

常葉中・高

私学作品展

10月5日～11日の7日間、静岡市民ギャラリーで第52回静岡県私立学生徒作品展が開催されました。本校の芸術教育の内容を広く公開するものとして、書道と美術部門において、中学と高校を合わせて選抜された80点余りの作品を出品しました。会場には保護者の方をはじめ多くの方が訪れ、生徒の力作に見入っていました。



常葉大

韓国済州大学校での
海外日本語教育実習を終えて

外国語学部グローバルコミュニケーション学科日本語教育専攻では10月25日から2週間、提携大学である韓国済州大学校で海外日本語教育実習を行いました。実習は本学日本語教育専攻の3・4年生8名の実習生が、済州大日文科18名の学生を対象に行うものです。対象は中級以上の学生ですから「済州島を日本語でガイドしよう」を目標にしました。コースデザインから教材開発、そして毎日2時間の授業、まとめとして済州大の学生がガイドになって行う島内バスツアーを実施しました。実習は大学関係者からも受講生の学生からも好評でした。このように実り多い実習ができたのは、済州大学校の関係者の方々のご厚意とご配慮のおかげと感謝しています。



常葉中・高

環境を考えるポスター展 佳作



第24回国民文化祭・しずおか2009のデザイン・グラフィックアート部門において、3年生の松永早貴さんの作品「気づけない心」が佳作に入賞しました。全国から233点もの応募があり、一般から大学生や専門学校生に混じった快挙でした。「環境」というテーマのもと、松永さんは高校生らしい視点で、構成員の大変しつかりした作品を描き、そういった点が評価に結びついたものと思われまふ。

美術館特別企画展

菊川市出身の漫画家小山ゆう氏の原画156点と、蘭字・志戸呂焼といったお茶に関する作品26点を展示しました。小山氏の「おれは直角」をはじめとする作品が、これだけ勢揃いして一堂に展示されたことは過去になく、また、「チエンジ」では、菊川高校なども描かれており非常に興味深い展覧会でした。

菊川中・高



橘中・高

「目指せごみゼロ」ポスター・コンテストで最優秀賞
「人権啓発」ポスター・コンテストで優秀賞

左 服部 華さん 右 乾 佳織さん

10月24日(土)ツインメッセ静岡北館の「第7回しずおか環境・森林フェア」の会場で、本校2年乾佳織さんが「目指せごみゼロ」ポスター部門の高等学校の部で最優秀賞を授与されました。「静岡をもっともときれいな都市にしたい」と彼女は語っていました。又、静岡人権擁護委員協議会主催の「平成21年度人権啓発ポスターコンテスト」に高校2年の服部華さんが「守りたい子供の権利とその笑顔」という題で出品し、優秀賞を授与されました。

富士常葉大

高大連携調印式



地域とともに教育の活性化を図ろうと、本学と市内の公立・私立の6高校が9月30日、教育活動などで連携する「高大連携協定」を結びました。協定をきっかけにさらに交流を深め、地域貢献に努めるために、今後は富士宮や沼津地区の高校とも教育連携を進めていく予定です。

模擬試験開始

静岡
リハ専

4年生は長期にわたる臨床実習を終了しました。今年度の理学療法士・作業療法士国家試験は平成22年2月28日(日)に行われます。学生たちはこれから10回の模擬試験を繰り返しながら、知識の整理をしていきます。ゴールは間近です。全員が揃って理学療法士の資格を取得することができるよう、頑張りましょう。



「アロマハンド リラックス練習中です。」

医療専



鍼灸学科では、将来の臨床現場で役立つ技術を修得するために、アロマオイルを用いたトリートメントを学んでいます。2月の試験に向けてアロマハンドリラックスの手技を練習中です。

浜大生が "チャレンジショップ"に出店

浜松大



10月3日、浜松市中心街で例年開催されている「はままつ収穫祭」のイベント、「チャレンジショップ」にビジネスデザイン学部の学生7名が地元製品の紹介セールスで参加しました。この日販売したのは「味わいプロジェクト」と称した【春野どらやき・横須賀ドーナツ・のりレース・のりラスク】など地産地消の商品。「こんにちは 浜松大学です」と大きな声で商品のPRをした浜松大学は、審査の結果、「スマイル賞」を受賞しました。

浜松大生、 浜名湖立体花博でエコを啓蒙

10月9日、浜松モザイカルチャー世界博のイベントステージでビジネスデザイン学部中津川ゼミ生4名は「Private Earth～地球、大事にしてる?」をテーマに、土に戻る素材の風船を使ったバルーンアートを通して、環境や人間同士のつながりの大切さを訴えました。観客自身がハート型の風船を作る体験コーナーでは、学生達がおもてなしの心(ホスピタリティ)を実践し、観客ひとりひとりに笑顔で声をかけながら、バルーン作りを手伝っていました。



庄司隼人君、広島カープへ! ドラフト会議4位指名

橘高

10月29日(木)5時40分、長いドラフト会議の結果を待って職員室のインターネット前に座っていた庄司君や多くの教師たちの目が輝いた。やがて歓声に変わる。「広島カープだ」。会議室での黒澤監督・伊東部長を交えた記者会見の後、野球部の後輩たちに胴上げされた。非常に嬉しそうだった。「厳しい練習の中で思い切ることができることが本当に嬉しい」彼の好きな言葉「何苦楚魂」で駿河の隼(はやぶさ)が先ず日本で大きくはばたくことを期待します。



アルティメットチーム 全国大会で一勝!

富士
常葉大

本学アルティメットチーム「INDEIS」が、全国大会出場3度目にして初勝利をあげました。大会は予選を突破した14チームが2日間のトーナメントで戦うもので、本学は今年の学生チャンピオン日本体大を僅差で破り、念願の全国大会での勝利となった。



体育祭

常葉
中・高

常葉祭三行事のラストを飾った体育祭。ここ数年草薙体育館を借りて中高全体で行っています。天候に左右されることもなく、また補助生徒達が役割に徹することでスムーズに進行していきます。その中でも反省点を見つけ、工夫し、より良い体育祭を目指したいです。



浜名湖立体花博へGO! 中等部秋の遠足

橘中

10月14日(水)前週の予定が台風のため延期となっていた「秋の遠足」が実施されました。バス4台に分乗して8時前に出発。約2時間で「世界立体花博」の会場である浜松フラワーパークに到着しました。生徒達はモザイカルチャー(金属の骨組みに土を詰め、花・緑を色合いや特性を生かして植えて、絵画や彫刻のように平面的、立体的に形作るアート作品のこと)やイベント、飲食物販施設、サービス施設などを巡りながら大いに友情の輪を広げていました。



楽しく・アクティブに英語を学ぶ —本校の特色ある授業—

橘小

本校では、英語のコミュニケーション能力の育成とともに、「自分の力で(英語を)読む」力の育成を目指し、フォニックスやオックスフォードのリーディング教材等を使



って、ネイティブの先生から学ぶだけでなく、ペアやグループでも助け合いながら練習に取り組んでいます。また、4月の「自己紹介」に始まり、「世界の国々」「月曜日」「買い物」など、月ごとのテーマに基

づいた学習も、楽しく行っています。こうした学習は1年から段階に応じて進められます。

こうして積み上げられた学習の成果は、6年間の集大成としてブリティッシュヒルズ英語研修(国内留学体験)へとつながっていきます。早くも1年生が行きたいと、意欲満々、英語の学習に取り組んでいます。



「瀬名っ子しぜん探検隊」

常葉短大

10月17日(土)～18日(日)に、公開講座「瀬名っ子しぜん探検隊」最後の企画である「ふりかえりキャンプ」を行いました。短大の中庭にテントを張って宿泊し、午前3時半に起床。4時半に短大を出発し、夜明け前の梶原山に登頂。山頂で待つこと十数分、雲の間から顔をのぞかせた朝陽に大歓声。キャンパーたちの顔も輝いていました。この「瀬名っ子自然探検隊」では、5月から10月の間に計4回のキャンプを実施し、保育科「子どもと自然」ゼミ参加者を中心とした学生が指導にあたりました。子どもたちはもちろん、学生自身の体験の幅もひろがり、身近な自然の中でよい時間を過ごせたと思います。



静岡リハ専



之山忌清掃活動

学校	内訳	学生・生徒・児童・園児						教職員			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	教職員	事務職員	非常勤職員
学園本部									48		
大学院	国際言語文化研究科	7	5					12			4
	初等教育実践研究科	10	10					20			
教育学部	初等教育課程	132	133	126	139			530	52	16	75
	生涯学習学科	66	73	54	73			266			
	心理教育学科	69	69	71	69			278			
外国語学部	英語教育学科	129	109	129	121			488	31	10	52
	グローバル・C学科	54	67	73	67			251			
造形学部	造形学科	89	74	66	60			289	11	3	40
	合計	556	530	519	529			2134	94	29	171
大学院	経営学研究科	17	18					35			
	健康科学研究科	15						15			19
ビジネス学部	経営情報学科	92	88	137				317	34	6	25
	サービスと経営学科	118	128	117				363			
健康学部	健康栄養学科	56	65	77	83			281	52	11	73
	こども健康学科	26	26	34	68			154			
心身マネジメント学部	理学療法学科	86	103	123	105			417			
	作業療法学科	41						41	18	2	3
経営情報学部	経営情報学科	20						20			
	情報ネットワーク学科							206	12	5	30
国際経済学部	国際経済学科							25			
	国際経済学科							84	6	2	28
留学生別科								45			
	合計	516	428	488	571			2003	122	26	178
大学院	環境防災研究科	3	4					7			
総合経営学部	総合経営学科	162	182	206	177			727	27	14	47
環境防災学部	環境防災学科	86	94	123	120			423	22	10	34
保育学部	保育学科	89	94	76	94			353	14	6	43
留学生別科								29			
	合計	369	374	405	391			1539	63	30	128
本学	日本語日本文学科	176	194					370	28	4	20
	英語英文科	59	69					128	8	3	20
	保育科	217	199					416	18	9	64
	音楽科	53	41					94	9	4	71
	小計	398	355					753	42	20	182
	言語国文専攻	10	8					18			
	保育専攻	10	14					24			
	音楽専攻	22	20					42			
	小計	42	42					84			
	合計	440	397					837	42	20	182
高等学校		176	194	193				563	28	4	20
中学校		45	48	53				146	10	1	14
	合計	221	242	246				709	38	5	34
高等学校	英数科	34	31	59				124	53	7	49
	普通科	279	217	240				736			
	音楽科	12	8	18				38			
	小計	325	256	317				898	53	7	49
中学校		69	78	62				209	12	1	6
	合計	394	334	379				1107	65	8	55
高等学校	普通科	277	343	309				929	55	5	44
	美・デ科	42	46	49				137			
	小計	319	389	358				1066	55	5	44
中学校		55	54	68				177	11	1	8
	合計	374	443	426				1243	66	6	52
小学校		38	60	66	63	62	65	354	26	3	18
幼稚園		16	69	88	70			243	12	1	3
幼稚園		12	81	75	90			258	11	1	3
医療専	理学療法学科		33	37	44			114	23	6	76
	作業療法学科		17	25	45			87			
	鍼灸学科		14	26	24			64			
	柔道整復学科		19	17	30			66			
	合計	33	93	116	89			331	23	6	76
常葉静岡リハ専	理学療法学科	52	64	79	66			261	11	4	34
常葉リハビリテーション病院								59			
	合計	3021	3115	2887	1869	62	65	11019	573	246	934

※医師・医療職員含む

「お菓子をくれなきや
いたずらしちゃうぞ」ここは
幼

「ハロウィンパーティー(年中)」



「もかん持り」

たちはな
幼あまくて
おいしいね

日本語日本文学科
初めての韓国研修旅行常葉
短大

今年の日本語日本文学科の海外研修旅行は初めて韓国のソウルで実施した。9月6日から9日までの3泊4日の短い研修旅行であった。出

来立の富士山静岡空港から韓国の仁川空港に飛び、ソウルの明洞(ミョンドン)近くのP Jホテルで3泊して、ソウル周辺をたっぷり味わおうという計画である。ソウルに着いてすぐに宗廟と昌徳宮の二つの世界遺産を見学し、夜はソウルの繁華街・明洞を散策。2日目は水原華城と韓国民俗村に景福宮・国立民俗博物館を観光して、夜は垢すりを体験。3日目は自由研修と国立中央博物館の見学という日程だった。短いながらも、研修に体験に買い物に、充分満喫することができた旅だった。

イギリス語学研修を
実施しました

常葉高

シェークスピアが生まれた町として有名なストラッドフォードで、グローバルスタディーズコース2年生が2週間の研修を行いました。体験重視のプログラムで、ホームステイをしながら、地元の小学校を訪問したり、ナショナルトラストの活動を見学したりしました。今年は、ロンドン1日班別行動があり、地下鉄を乗り継いで、迷いながらも自分たちで決めた研修地を見て回ることもでき、積極的に話すことがいかに大切かを感じ取る研修になりました。

美・デ科修学旅行
「金沢・飛騨高山・五箇山を訪ねて」

菊川高

美術・デザイン科は、紅葉の美しい秋の日、北陸の文化都市金沢を訪れ、江戸時代の武家屋敷街や茶屋街に残る日本文化の風情を楽しみました。また、金箔張りや和菓子作りなどを行い、美術科の授業にはない工芸分野の貴重な体験を味わいました。

全ての生徒が「大変良かった。」「もう一泊したかった。」と言っていたのは、世界遺産五箇山合掌集落での宿泊でした。いろいろを囲んでの食事や満天の星の美しさに感動し、宿のおばあさんの優しさに感激していました。また集落のあちこちに座ってスケッチをする生徒たちは真剣そのもの。他の観光客の目にも気にせず一心に描いていました。

4泊5日の修学旅行で味わった日本の

第43回 橘香祭(大学祭)
開催される常葉
短大

11月14日・15日の両日、橘香祭が開催されました。「翔」というテーマのもと、さまざまなイベントが繰り広げられ、学生が一丸となって全力で盛り上げました。

中夜祭ではお笑いの「Wエンジン」も登場し、にぎやかな2日間となりました。



静療祭

リハ専



10月24・25日の2日間、本校を会場として静療祭が行われ、学生・教員による模擬店、バザー、お笑い芸人のライブ等多彩な催し物が開かれました。学生の普段見せない積極性が随所に見られ、また、クラスの結束力がより強まった学園祭でした。

植林作業と
国際交流バーベキュー
橘高校生徒会

橘高



10月25日(日) 静岡西ロータリークラブ主催の、梅ヶ島の大谷崩れ植樹に1、2年生の生徒会役員が元気に参加しました。午前中は10時から12時50分まで100mほど急な斜面を登りながら植林作業を行いました。作業後は、一緒に参加した外国人留学生たちと、金山温泉でバーベキューパーティーを行いその後餅つき大会やスポーツで参加者同士交流を深め、有意義な1日を送りました。

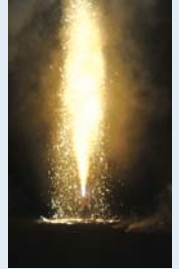
伝統文化の中心にある、雅(みやび)や粋(いき)を日常の美術とどう結び付け、生かすかが生徒たちの課題です。

第14回 轟進祭
—最後の文化祭—開催

医療専

11月7日・8日の両日、第14回轟進祭が行われました。天気にも恵まれ晴天の中模擬店や学生のライブなど大いに盛り上がりしました。また、7日の中夜祭では三ヶ日町手筒保存会による手筒花火が行われ、その迫力と美しさに見学者全員が圧倒されました。

学生・教職員ともに楽しむことができた貴重な2日間でした。



～テーマ「光」～ 大学祭 常葉大



11月7日～8日の2日間、晴天にも恵まれ、第30回オレンジフェスティバル(大学祭)が開催されました。世の中、暗いニュースばかりの中この大学祭で希望の光を見出してもらおうと今年は「光」をテーマに取り組みました。大学祭では地域密着型を目指しており、地域の方々や子供たちも大勢来場し、喜んで頂きました。7日は、M s.常葉コンテスト、部活サークルパフォーマンス、バルチャーンショー、音楽専攻によるコンサート等を開催しました。8日は、女装コンテスト、ケーキバイキング、スピードワゴンによるお笑いライブ等があり、2日間を通じ大盛況で終えることができました。



農水省主催 遺伝子組換え農作物に ついて語り合う

浜松大



日頃より、食の安全について学ぶ健康栄養学科2・3年生60人は、10月6日、農林水産省の担当者をお招きして、遺伝子組み換え農作物について考えるコミュニケーション活動を行いました。講師で農水省技術政策課の小松晃課長補佐は「日本では遺伝子組み換え農作物の使用についての世論形成が未熟だが、技術戦略だけは進めている」と、開発の方向性を示しました。学生らはこの機会を利用し、熱心に講師に質問をしていました。

好評だった 橘高校「第2回授業体験会」

橘高



10月10日(土)橘高校の4教室において、来年受験予定の中学3年生や父母約100名を招いて、池田・朝比奈先生が英語の授業を、大城・佐藤先生が数学の授業を、新井先生がパソコンを使っている「すらら」の授業を行ないました。9月について第2回目の今回は、特進レベルの生徒を想定したテンポで「高校の入試問題がどのように高校での学習内容につながっているかを実際の入試問題を解きながら解説」しました。授業を体験した中学生・父母からは概ね素晴らしいというアンケート結果でした。

受験シーズン始まる

常葉大

11月1日(日)には、奨学生入試・スカラシップ入試が、静岡市・浜松市・沼津市の県内3会場で行われ、大変、多くの方が受験されました。

本格的な受験シーズンのスタートです。今後、年内には、一般推薦入試・自己推薦入試が実施されます。

2月初旬の一般入試(前期)では、静岡市の本学試験場に加えて、沼津市・浜松市、その他に東京・名古屋・大阪・岡山・福岡・松本・金沢の計10都市が試験会場になります。

本学の入試は、センター試験利用入試(前期・後期)、一般入試(後期)と3月中旬までの数回の機会があります。

受験生の皆さん。

新型インフルエンザの流行等、不安な面もありますが、体調管理を徹底して、長い受験シーズンを乗り越えましょう。受験がんばりましょう!

入試日程・会場等の詳細は、平成22年度募集要項にてご確認下さい。

その他、入試に関するご質問は、入試広報課(電話054-263-1125)までお願い致します。

ここはインフォメーション

常大	▶ 第28回W.S.E 定期演奏会	12/27(日) 18:00開演	グランシップ 中ホール「大地」	ウインド・サウンズ・アンサンブルによるクラシック・ポップス等の演奏
浜松大	▶ 音とリズムを楽しむ会	12/5(土) 10:30~11:50	トコハホール	こども健康学科・学生による音楽会
	▶ 保護者のための冬のこども講座	12/5(土) 9:10~15:50	浜松大学 2・5号館	浜松大教員による実践講座
常葉短大	▶ 静岡県私立短期大学体育大会	11/29(日) 9:30~	東海大学(清水校舎) 体育館	県内短期大学の体育・スポーツ活動振興、学生の健康維持・増進、親睦を図り各種対校競技開催
	▶ 第19回音楽科定期演奏会	12/17(木) 18:30~	静岡音楽館 A O I	音楽科生による演奏会
常葉中・高	▶ 常葉学園中学校学校説明会	12/5(土) 9:30~11:30	常葉学園 中学校	学校紹介・入試説明・個別相談
	▶ 常葉学園高等学校入試説明会	12/12(土) 9:00~12:00	常葉学園 高校小講堂	入試直前! 「国・英・数学学習アドバイス」
	▶ 第32回定期演奏会 常葉学園中・高等学校	2010.1/6(水) 18:00開場 18:30開演	静岡市民文化会館 大ホール	常葉学園中・高吹奏楽部による演奏



『つーかまえた! ともだちになっちゃった!』

保育サービスセンター



「うわー!」「こわーい!!!」とあつさりする子も。みんなが見ていたのは・・・『ざりがに』大きなはさみをふりあげています。先生達が持って見せると「すごーい!」「かっこいい!」「あしがいっぱい!」と言いながら興味深く近づいてきた大きい組さん。大きなタライの池を作って、ざりがにを入れ『ざりがににつり』に挑戦! なかなかうまくいかなかったけれど、やっとつれると「わーっつれたあ〜」と大喜び、しばらく遊ぶと触れるようになり、背中を持ってつかめるようにもなりました。両手つかみもできるようになり、みんなに見せて得意顔! その後、水をかえたり、えさをあげたり、世話もして育てています。赤ちゃん産まれるといいね〜友達が増えた気分です。

お母さんとお味噌造りしたよ



ここは 幼

年長参観会では親子でみそ造りを行いました。『みそのみゆき』先生に造り方を教えて頂き材料となる大豆・米麹・塩を何度も味見をしながら進めていきました。焼酎で消毒した手足で大きなビニール袋に入った材料をコネコネフミフミしました。少しずつみその香りが広がり始め、味見をしてみると「しょっぱい」という声があがりました。美味しくする為にみんなで協力して混ぜ合わせていき、一時間すると完成! その後お味噌汁にしてすぐ飲んでみると・・・手作りみその味は格別だったようで、園児たちは口々に「おいしいね」と言い、おかわりの行列が出来ていました。少しずつ家にも持ち帰り、家族でも味わいました。貴重な食育を親子で体験する事が出来ました。



たちばな 幼

年長 歯みがき指導 キレイにみがけたよ!

10月28日(水) たちばな幼稚園に、白衣を着た歯科衛生士さん達が来て下さり、劇を見たり、お話を聞いたりして楽しみながら、「歯の大切さ」を知りました。

年長組では、歯の染め出しを行い、上手く磨けていない歯が濃いピンク色に染まったことに、どの子も驚いている様子でした。子ども達は、鏡で自分の歯を確認しながら、教えてもらった上手な磨き方で、一生懸命に歯を磨きました。お昼の後の歯みがきでも、教えてもらった事を思い出しながら、一生懸命磨く姿が見られました。

たのしい ようちえん